

## 第 5 章 仮設工

1)	仮設工	607
2)	鋼矢板（H形鋼）工	612
2)-1	バイプロハンマ工	612
2)-2	バイプロハンマ工（軽量鋼矢板打込引抜き）	637
3)	油圧圧入引抜き工	641
4)	矢板工（アースオーガ併用圧入工）	654
5)	矢板工（クレーン引抜き工）	657
6)	矢板工（H形鋼）	660
7)	鋼矢板施工法選定（参考）	670
7)-1	鋼矢板打込み施工法選定表（参考）	670
7)-2	鋼矢板引抜き施工法選定フロー（参考）	672
8)	仮設材設置撤去工	673
9)	足場支保工	681
9)-1	足場工	681
9)-2	支保工	684
10)	締切排水工	686
11)	ウエルポイント工	689
12)	土のう工	693
12)-1	土のう工	693
12)-2	大型土のう工	694
13)	仮橋・仮栈橋工	698
14)	汚濁防止フェンス工	709
15)	仮囲い設置撤去工	710
15)-1	仮囲い設置撤去工	710
15)-2	雪寒仮囲い工	712
16)	仮設防護柵工	721
16)-1	切土（発破）防護柵工	721
16)-2	掘削（発破）防護柵工	725
17)	濁水処理工（一般土木工事）	727
18)	敷鉄板設置撤去工	730
19)	防塵処理工	731
20)	仮設電力設備工	733
21)	グラフによる標準的な仮設電力設備の積算	751
22)	法面工（仮設用モルタル吹付工）	754

1) 仮設工

(1) 仮設工項目

- 1) 型枠，支保工，足場工に要する費用
- 2) 山留（土留，仮締切），仮井筒，築島工に要する費用
- 3) 水替工，仮水路に要する費用
- 4) 工事施工に必要な機械設備（コンクリートプラント，アスファルトプラント等）に要する費用
- 5) 用水，電力等の供給設備に要する費用
- 6) 仮道，仮橋，現場補修等に要する費用

(2) 仮設工の積算

1) 仮設工として積算する内容は次のとおりとする。

- イ．型枠，支保工，足場工の設置，撤去，補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の損料（賃料）。
- ロ．山留（土留，仮締切），仮井筒，築島工の設置，撤去，補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の損料（賃料）。
- ハ．水替工，仮水路の設置，撤去，補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の電力料及び損料（賃料）。
- ニ．工事施工に必要な機械設備の設置，撤去，及び補修等に要する費用
  - （イ）コンクリートプラント，アスファルトプラント等の設置，撤去及び当該施設の補修に要する費用
  - （ロ）トンネル工事における照明設備に係る設置，撤去，補修に要する費用及び当該設備の使用期間中の電力料
- ホ．電力，用水等の供給設備の設置，撤去，補修等に要する費用
  - （イ）電力，用水等の供給設備に係る設置，撤去，補修に要する費用及び当該供給設備の使用期間中の損料（賃料）
- ヘ．仮道，仮橋，現道補修等に要する費用
  - （イ）仮道，仮橋に係る設置，撤去，補修に要する費用及び当該仮施設の使用期間中の損料（賃料）
  - （ロ）公道等の補修に要する費用
- ト．工事施工に必要な防護施設（転落，飛来等の防止柵及び発破用防護柵等），仮囲い（工所用防護塀）に係る設置，撤去，補修に要する費用及び当該防護施設等の使用期間中の損料（賃料）
- チ．工事施工に伴う防じん対策（簡易舗装，タイヤ洗浄装置，路面清掃等）に係る設置，撤去，補修に要する費用及び使用期間中の損料（賃料）
- リ．仮区画線に係る費用

2) 積算方法

仮設工の積算は，現場条件を的確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

3) 仮設材の損料率

表 2.1 土留，仮締切，築島，仮橋等の材料損料率

期間	種別	損料率（％）		
		木材	鋼材	蛇かご
3ヶ月未満		60	10	100
6ヶ月 "		70	20	100
1年 "		90	30	100
2年 "		100	50	100
3年 "		100	70	100

(注) 1. 再使用不可能なもの及び長さ 2m 未満の場合は全損とする。

ただし，鋼材の内回収可能なものについては，スクラップ控除する。

2. タイロッドは 1 工事全損としスクラップ控除する。

3. ボルト，カスガイ，釘，鉄線等は全損とする。

4. 上表は，「建設用仮設材損料算定基準」（昭和 44 年 6 月 12 日付け建設省機械発第 65 号）及び「建設用仮設材賃料積算基準」（平成 7 年 3 月 29 日付け建設省経機発第 43 号）に示す材料以外のものに適用する。

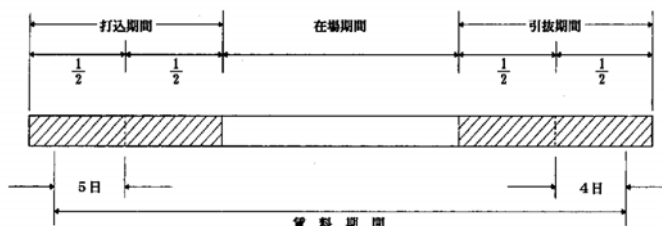
表 2.2 足場材, 支保材, 防護柵の材料損料率

期間	種別	材料損料率			
		木材	金網	シート	ワイヤロープ
3ヶ月未満		25	80	30	20
6ヶ月 "		40	90		
1年 "		50	100		
2年 "		75	100		
3年 "		100	100		

(注) 1. 簡易な足場材又は、期間が1ヶ月未満の木材については、損料率15%とする。  
 2. 上表は、「建設用仮設材損料算定基準」及び「建設用仮設材賃料積算基準」に示す材料以外のものに適用する。

4) 鋼矢板の賃料期間の算定

鋼矢板の賃料期間の算定については、下記を標準とする。

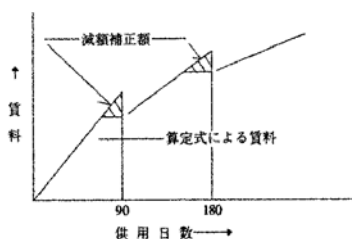


賃料期間(日) = (打込期間 × 1/2) + (在場期間) + (引抜期間 × 1/2) + (5日 + 4日)

(注) 1. 仮設材 H 杭についても同様の扱いにする。  
 2. 土留、締切、路面覆工等に使用される切梁腹起し覆工板については打込(引抜)日数を設置(撤去)日数と読みかえ同様の扱いとする。  
 3. 損料材についても同様の扱いとする。

5) 適用区分による賃料の補正について

供用日数(又は月数)の長短による賃料にかかる市場単価の適用区分が変わることによって賃料計上額(1現場当り修理及び損耗費を除く。)が当該日数(又は月数)の増加に比例せず減少する場合がある。したがって、減少する時点までの供用日数(又は月数)における賃料計上額(1現場当り修理及び損耗費を除く。)は、その減少する時点における賃料計上額(1現場当り修理及び損耗費を除く。)を上限とし、下記の方法により減額補正する。



6) 工用仮設材(鋼矢板, H形鋼等)の計上について

下記により難しい場合は、別途考慮する。

当初より撤去しない場合

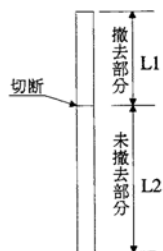
- (イ) 中古品の場合は業者が入手可能な購入価格(市中価格)の90%とする。
- (ロ) 新品を使用する場合、又は中古品が入手不可能な場合は市中価格とする。

当初は撤去を考えていたが、現地の状況で1本ものが全て撤去できなくなった場合

- (イ) 新品でない場合
  - (不足分弁償金にかかる市中価格(中古)) × 質量
- (ロ) 新品の場合
  - (不足分弁償金にかかる市中価格(新品)) × 質量

当初より、現地の状況で 1 本ものの内一部を撤去しないものとした場合

(新品でない場合)



(イ) L1 部について

- ・ L1 がスクラップ長以上の場合は賃料を計上する。  
(賃料 + 修理費及び損耗費) × 質量
- ・ L1 がスクラップ長未満の場合は市中価格を計上する。  
(市中価格 × 80%) × 質量

(ロ) L2 部について

- ・ L1 がスクラップ長以上の場合は、L2 部 (未撤去部分) については、不足分弁償金にかかる市中価格を計上する。  
(不足分弁償金に係る市中価格 (中古)) × 質量
- ・ L1 がスクラップ長未満の場合は、L2 部 (未撤去部分) については、市中価格を計上する。  
(市中価格 × 90%) × 質量

当初は撤去を考えていたが、現地の状況で 1 本ものの内一部が撤去できなくなった場合

(新品でない場合)



(イ) L1 部について

- ・ L1 がスクラップ長以上の場合は賃料を計上する。  
(賃料 + 修理費及び損耗費) × 質量
- ・ L1 がスクラップ長未満の場合は不足分弁償金に係る市中価格を計上する。  
(不足分弁償金にかかる市中価格 (中古) × 90%) × 質量

(ロ) L2 部について

- (不足分弁償金にかかる市中価格 (中古)) × 質量

当初は切断をせず撤去するものとしていたが、現場状況により切断を行い撤去した場合

(新品でない場合)



(イ) L1 部又は L2 がスクラップ長以上の場合

・ 賃料を計上する。

(賃料 + 修理費及び損耗費) × 質量

(ロ) L1 又は L2 がスクラップ長未満の場合

・ 不足分弁償金にかかる市中価格を計上する。

(不足分弁償金にかかる市中価格 (中古) × 90%) × 質量

7) 仮設材質料に係る修理費及び損耗費の作業区分について

〔鋼矢板・H形鋼〕

イ. 打込みを伴う場合 (打撃, 振動, 圧入工法等)

最大 N 値が 20 未満 …… 軽作業

” 20 以上 39 以下 …… 標準

” 40 以上 …… 作業

ロ. 補助工法を併用し打込みを伴う場合 (ジェット併用パイプロハンマ・オーガ併用圧入・ジェット併用圧入工法) 及び打込みを伴わない場合 (プレボーリング工法)

最大 N 値が 39 以下 …… 軽作業

” 40 以上 …… 標準

(注) 「先端部分のみに補助工法を併用しないで打込む場合」及び「プレボーリング工法で先端部分のみを打撃する場合」についても, ロ. を適用する。

〔主桁・腹起し材〕

主桁・腹起し材 …… 標準

## (3) 単価表

当初より撤去しない場合

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼	各種	t	1	単価は市中価格
諸雑費		式	1	
計				

当初は撤去を考えていたが、現地の状況で 1 本ものが全て撤去出来なくなった場合

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼	各種	t	1	単価は不足分弁償金
諸雑費		式	1	
計				

当初より、現地の状況で 1 本もの内一部を撤去しないものとした場合

1) 撤去出来る部分 (スクラップ長以上)

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼賃料	各種	t	1	
修理費及び損耗費		"	1	
諸雑費		式	1	
計				

2) 撤去出来る部分 (スクラップ長未満)

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼	各種	t	1	単価は市中価格の 90% (80%)
諸雑費		式	1	
計				

( ) 内は中古の場合

当初は撤去を考えていたが、現地の状況で 1 本もの内一部が撤去出来なくなった場合

1) 撤去出来る部分 (スクラップ長以上)

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼賃料	各種	t	1	
修理費及び損耗費		"	1	
諸雑費		式	1	
計				

2) 撤去出来る部分 (スクラップ長未満)

鋼矢板・H形鋼 1t 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼矢板 or H形鋼	各種	t	1	単価は不足分弁償金の 90%
諸雑費		式	1	
計				

2) 鋼矢板 (H 形鋼) 工

2)-1 バイプロハンマ工

1. 適用範囲

電動式バイプロハンマ、油圧式可変超高周波型バイプロハンマ (以下「油圧式バイプロハンマ」という) による鋼矢板・H 形鋼の打込み (ウォータージェット併用施工を含む) 及び引抜きの上陸・水上施工 (継施工を含む) に適用する。

なお、陸上施工と水上施工の作業形態は、次のとおりである。

【陸上施工】クレーンを陸上に設置して行う施工のことで、次の形態が該当する。

- ・クレーンの設置場所：陸上 (棧橋上等を含む)
- ・鋼矢板・H 形鋼の施工場所：陸上部又は水中部

【水上施工】クレーンを台船上に設置して行う施工のことである。

また、継施工における施工法は、次のとおりである。

【鋼矢板】先行する鋼矢板を打込み後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手を溶接する方法。

【H 形鋼】先行する H 形鋼を打込み後、それに接続する H 形鋼を鉛直に建込んだ状態で継手をボルトにより接合する方法。

また、鋼矢板型式毎の打込長 (引抜長) の適用範囲は、表 1.1~表 1.3 のとおりとし、これにより難しい場合は、別途考慮する。

(1) 打込み (電動式バイプロハンマ)

表 1.1 打込長 (m)

鋼矢板種類		普通					広幅			広幅 (ハット形)	
		A 型	型	型	型	L 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型
打込長 (m)	バイプロハンマ 単独施工	6 以下	15 以下	19 以下	25 以下	25 以下	15 以下	19 以下	25 以下	15 以下	19 以下
	ウォータージェット 併用施工	-	15 以下	19 以下	25 以下	25 以下	15 以下	19 以下	25 以下	19 以下	25 以下
H 形鋼型式		H200	H250	H300	H350	H400					
打込長 (m)	バイプロハンマ 単独施工	12 以下	15 以下	25 以下	25 以下	25 以下					
	ウォータージェット 併用施工	15 以下	19 以下	25 以下	25 以下	25 以下					

(2) 打込み (油圧式バイプロハンマ)

表 1.2 打込長 (m)

鋼矢板種類		普通					広幅			広幅 (ハット形)	
		A 型	型	型	型	L 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型
打込長 (m)	バイプロハンマ 単独施工	-	15 以下	19 以下	25 以下	25 以下	15 以下	19 以下	25 以下	15 以下	19 以下
	ウォータージェット 併用施工	-	15 以下	19 以下	25 以下	25 以下	15 以下	19 以下	25 以下	19 以下	25 以下

H 形鋼型式		H200	H250	H300	H350	H400
打込長 (m)	バイプロハンマ 単独施工	6 以下	15 以下	25 以下	25 以下	25 以下
	ウォータージェット 併用施工	-	19 以下	25 以下	25 以下	25 以下

(3) 引抜き (電動式バイプロハンマ, 油圧式バイプロハンマ)

表 1.3 引抜長 (m)

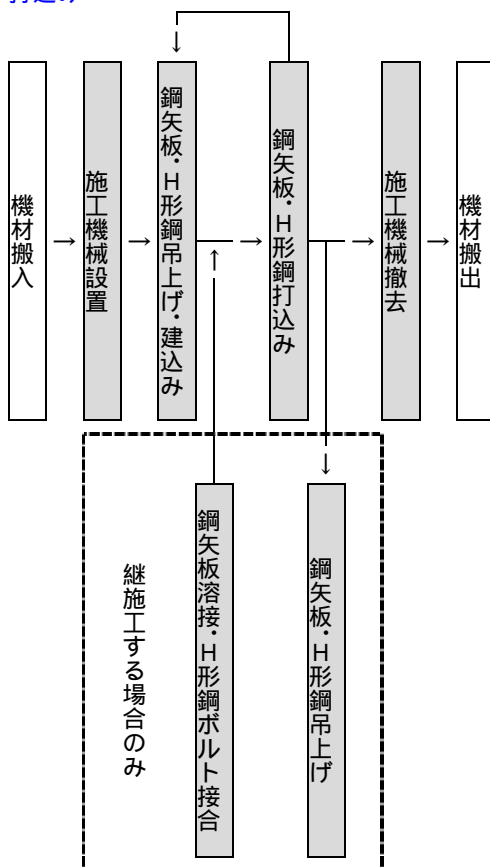
鋼矢板 H 形鋼	電動式バイプロハンマ	油圧式バイプロハンマ
		25 以下

2. 施工概要

2-1 施工フロー

施工フローは、下記を標準とする。

(1) 打込み

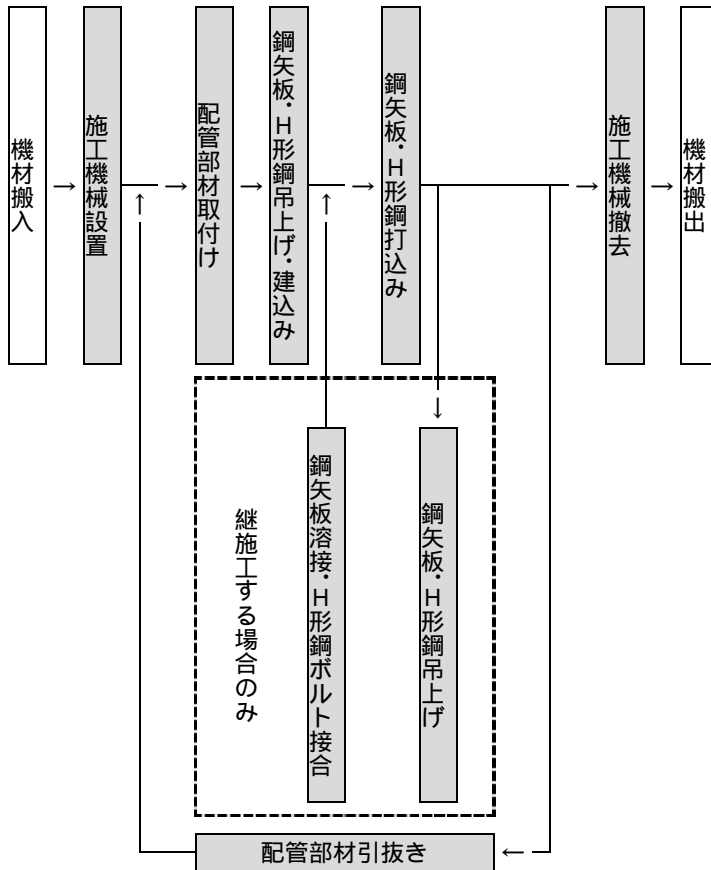


導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工を含む。

(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。



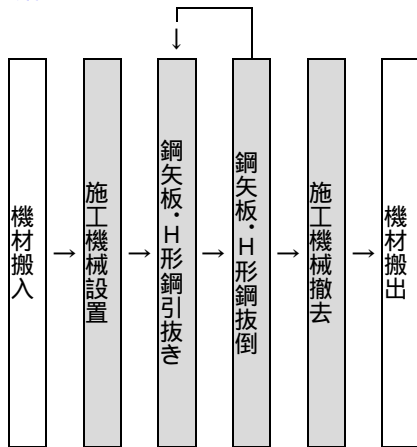
(2) 打込み (ウォータージェット併用施工)



導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工を含む。

(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

(3) 引抜き



敷鉄板の施工を含む。

(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

3. 施工歩掛

3-1 機種の選定

(1) バイプロハンマの規格

鋼矢板，H 形鋼の打込み，引抜きに使用するバイプロハンマの規格は，次表を標準とする。なお，ハット形鋼矢板の打込みに使用するバイプロハンマは，フランジ把持式の専用チャック装備を標準とする。

1) 打込み（電動式バイプロハンマ）

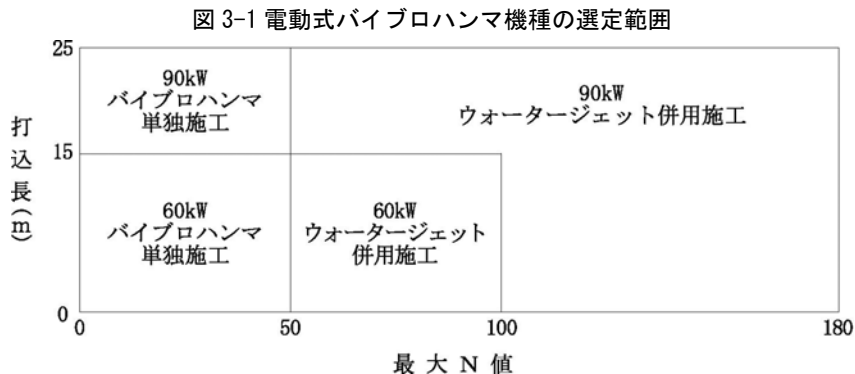


表 3.1 機種の選定（電動式バイプロハンマ）

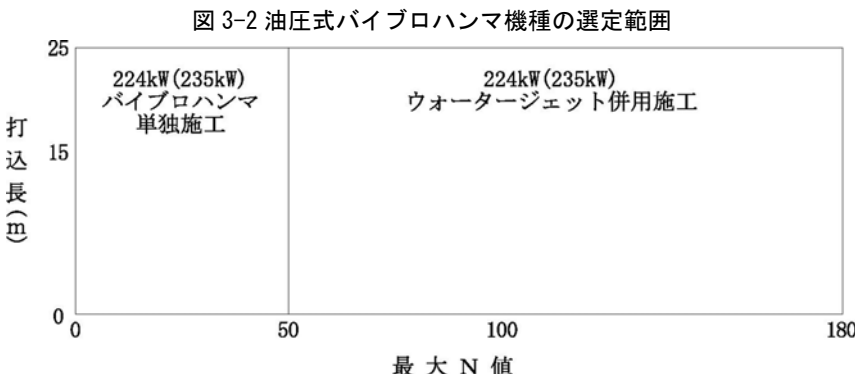
施工方法		バイプロハンマ単独施工	ウォータージェット併用施工	
最大 N 値		Nmax < 50	50 Nmax < 100	100 Nmax 180
打込長	15m 以下	60kW		90kW
	25m 以下	90kW		
杭打ち用ウォータージェット		-	14.7MPa 325L/min×2 台 (14.7MPa 325L/min×1 台) (注 1)	

- (注) 1. 杭打ち用ウォータージェット ( ) 書きは Nmax < 50 で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。
- 2. 対象地盤の最大 N 値が 50 を超えるものについては，式 3.1 により換算 N 値を求めたうえで適用する。

$$\text{換算 N 値} = \frac{1,500}{\text{落下 50 回当り貫入量 (cm)}} \dots\dots \text{式 3.1}$$

3. 打込長は，地表面よりの鋼矢板及び H 形鋼の打込長であり，鋼矢板長及び H 形鋼長とは異なる。

2) 打込み（油圧式バイプロハンマ）



※( ) 書きは，ハット形鋼矢板の場合。

表 3.2 機種を選定 (油圧式バイプロハンマ)

施工方法	バイプロハンマ単独施工	ウォータージェット併用施工	
最大 N 値	Nmax < 50	50 Nmax < 100	100 Nmax 180
打込長 25m 以下	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 224kW 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) (235kW) (注 1)		
杭打ち用ウォータージェット	-	14.7MPa 325L/min×2 台 (14.7MPa 325L/min×1 台) (注 2)	

- (注) 1. 打込長 ( ) 書きは, ハット形鋼矢板の場合に選定する。  
 2. 杭打ち用ウォータージェット ( ) 書きは Nmax < 50 で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。  
 3. 対象地盤の最大 N 値が 50 を超えるものについては, 式 3.1 により換算 N 値を求めたうえで適用する。  
 4. 打込長は, 地表面よりの鋼矢板及び H 形鋼の打込長であり, 鋼矢板長及び H 形鋼長とは異なる。

3) 引抜き

引抜き作業に使用する機械・規格は, N 値にかかわらず次表のとおりとする。

表 3.3 引抜き作業の機種を選定

	電動式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ	
	引抜き長	規格	引抜き長	規格
鋼矢板 H 形鋼	25m 以下	60kW	25m 以下	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 224kW

- (注) 1. 上表は, 広幅鋼矢板 ( w , w , w ) 及びハット形鋼矢板 ( 10H , 25H ) には適用しない。  
 2. 引抜き長は, 地表面よりの鋼矢板及び H 形鋼の引抜き長であり, 鋼矢板長及び H 形鋼長とは異なる。

(2) 付属機械

バイプロハンマの付属機械の機械・規格は, 次表を標準とするが, 現場条件によりこれにより難しい場合は, 施工上必要な機械・規格を計上する。なお, 水上施工の場合の台船, 引船は表 3.5 を標準とする。

表 3.4 付属機械の機種を選定

バイプロハンマ種別	施工内容	機械名	規格
電動式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)・引抜き	クローラクレーン	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50~55t 吊
油圧式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊
	引抜き		

- (注) 現場条件により濁水処理が必要な場合は, 「第 II 編 第 5 章 17) 濁水処理工 (一般土木工事)」による。

表 3.5 台船・引船

杭打機台船	矢板積台船	引船
クレーン付台船 台船 (300t 積) 1 台 クローラクレーン (45~50t 吊) 1 台	台船 (200t 積) 1 台	引船 (鋼製 200PS 型) 1 台

## 3-2 日当り編成人員

鋼矢板，H 形鋼の打込・引抜作業の日当り編成人員は，次表を標準とする。なお，水上施工の 1 船団に対する船舶作業の日当り編成人員は，表 3.7 を標準とする。

表 3.6 打込・引抜作業の日当り編成人員 (人)

項目	区分	世話役	とび工	普通作業員	溶接工
パイプロハンマ単独施工 (打込み,引抜き)	継施工なし	1	2	1	-
	鋼矢板(溶接接合)	1	2	1	2
	H形鋼(ボルト接合)	1	3	1	-
ウォータージェット併用施工	継施工なし	1	2	1	1
	鋼矢板(溶接接合)	1	2	1	2
	H形鋼(ボルト接合)	1	3	1	1

表 3.7 船舶作業の日当り編成人員 (人)

職種	杭打機台船	矢板積台船	引船
高級船員	1		1

(注) 1. 船員は休日以外の休止日については，共通仮設費(準備費)に繋船費として計上する。

2. 潜水士は必要に応じて船員と同様な方法で計上する。

3. 海上及び港湾工事で，これにより難い場合は別途考慮する。

4. 上表は打込み，又は引抜作業時の配置人員であり，搬入，搬出等の回航は共通仮設費の運搬費に計上する。

3-3 日当り施工枚 (本) 数

(1) 打込み (継施工なし)

鋼矢板, H 形鋼の 1 日当り打込枚数及び本数 (N) は表 3.8~3.19 による。

1) 電動式バイプロハンマによる施工 (Nmax < 50)

表 3.8 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	A 型	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
2 以下	57	56	55	54	52	55	53	52	53	51	56	54	52	49	47
4 以下	51	49	47	44	40	46	43	39	42	39	48	44	41	36	32
6 以下	47	43	40	37	32	40	36	32	35	31	43	38	34	28	25
9 以下		38	35	31	26	34	30	26	29	25	37	32	28	22	19
12 以下		33	29	26	21	29	25	21	24	20	32	27	23	18	15
15 以下		29	26	22	18	25	21	18	20	17		23	19	15	12
19 以下			24	21	16		20	16		16			18	14	11
23 以下				18	14			14					15	12	9
25 以下				16	13			13					14	10	8

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.9 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	A 型	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
2 以下	29	28	28	28	27	28	28	27	28	27	28	28	27	27	26
4 以下	27	26	26	25	23	26	25	23	24	23	26	25	24	22	21
6 以下	26	25	24	22	21	23	22	21	22	20	24	23	21	19	17
9 以下		23	22	20	18	21	20	18	19	17	23	20	19	16	14
12 以下		21	19	18	15	19	17	15	17	15	21	18	16	14	12
15 以下		19	18	16	14	17	15	14	15	13		16	15	12	10
19 以下			17	15	13		15	13		12			14	11	9
23 以下				14	11			11					12	10	8
25 以下				13	10			10					11	9	7

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

2) 油圧式バイプロハンマによる施工 (Nmax < 50)

表 3.10 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	56	55	53	51	55	53	51	52	50	56	54	52	49	46
4 以下	48	46	43	39	45	42	38	41	37	48	44	40	35	31
6 以下	42	39	36	31	39	35	31	34	30	42	37	33	27	24
9 以下	37	33	30	25	33	29	25	28	24		31	27	21	18
12 以下	31	28	25	20	28	24	20	23	19		26	22	17	14
15 以下	28	25	21	17	24	20	17	19	16		22	18	14	12
19 以下		21	18	14		17	14		13			16	12	10
23 以下			16	12			12					13	10	8
25 以下			14	11			11					12	9	7

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.11 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	28	28	28	27	28	28	27	27	27	28	28	27	26	26
4 以下	26	25	25	23	25	24	23	24	23	26	25	24	22	20
6 以下	24	23	22	20	23	22	20	21	20	24	22	21	18	17
9 以下	22	21	20	17	21	19	17	19	17		20	18	16	14
12 以下	20	19	17	15	19	17	15	16	14		18	16	13	11
15 以下	19	17	15	13	17	15	13	14	13		16	14	11	10
19 以下		16	14	11		13	11		11			12	10	8
23 以下			12	10			10					11	8	7
25 以下			11	9			9					10	8	6

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

3) 電動式バイプロハンマとウォータージェット併用施工

表 3.12 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	64 (68)	62 (67)	60 (65)	56 (62)	62 (66)	59 (65)	56 (62)	59 (64)	55 (62)	64 (68)	61 (65)	58 (63)	52 (60)	49 (57)
4 以下	40 (44)	38 (43)	35 (41)	31 (38)	37 (43)	34 (40)	31 (38)	34 (40)	30 (37)	40 (44)	36 (41)	33 (39)	28 (35)	25 (32)
6 以下	29 (33)	27 (32)	25 (30)	22 (27)	27 (31)	24 (29)	22 (27)	24 (29)	21 (26)	29 (33)	25 (30)	23 (28)	19 (25)	17 (22)
9 以下	22 (25)	20 (24)	18 (22)	16 (20)	20 (24)	18 (22)	16 (20)	17 (21)	15 (19)	21 (25)	19 (23)	17 (21)	14 (18)	12 (16)
12 以下	17 (19)	15 (18)	14 (17)	12 (15)	15 (18)	13 (17)	12 (15)	13 (16)	11 (15)	16 (19)	14 (17)	13 (16)	10 (14)	9 (12)
15 以下	13 (16)	12 (15)	11 (14)	9 (12)	12 (15)	11 (14)	9 (12)	10 (13)	9 (12)	13 (16)	11 (14)	10 (13)	8 (11)	7 (10)
19 以下		11 (13)	10 (12)	8 (10)		9 (11)	8 (10)	9 (11)	8 (10)		10 (12)	9 (11)	7 (9)	6 (8)
23 以下			8 (10)	7 (9)			7 (9)		6 (8)			7 (9)	6 (8)	5 (7)
25 以下			7 (9)	6 (8)			6 (8)		6 (7)			6 (8)	5 (7)	4 (6)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で, 転石等により, やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.13 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	30 (31)	30 (31)	29 (30)	28 (30)	30 (31)	29 (30)	28 (30)	29 (30)	28 (30)	30 (31)	29 (31)	29 (30)	27 (29)	26 (29)
4 以下	24 (25)	23 (25)	22 (24)	20 (23)	23 (24)	22 (24)	20 (23)	21 (23)	20 (22)	23 (25)	22 (24)	21 (23)	19 (22)	17 (21)
6 以下	19 (21)	18 (20)	17 (20)	16 (18)	18 (20)	17 (19)	16 (18)	17 (19)	15 (18)	19 (21)	18 (20)	16 (19)	14 (17)	13 (16)
9 以下	16 (17)	15 (17)	14 (16)	12 (15)	15 (17)	14 (16)	12 (15)	13 (16)	12 (15)	16 (17)	14 (16)	13 (15)	11 (14)	10 (13)
12 以下	13 (14)	12 (14)	11 (13)	10 (12)	12 (14)	11 (13)	10 (12)	11 (13)	9 (12)	13 (14)	11 (13)	10 (12)	9 (11)	8 (10)
15 以下	11 (12)	10 (12)	9 (11)	8 (10)	10 (12)	9 (11)	8 (10)	9 (11)	8 (10)	11 (12)	10 (11)	9 (11)	7 (9)	6 (8)
19 以下		9 (10)	8 (10)	7 (9)		8 (10)	7 (9)	8 (9)	7 (9)		8 (10)	8 (9)	6 (8)	5 (7)
23 以下			7 (8)	6 (8)			6 (8)		6 (7)			6 (8)	5 (7)	5 (6)
25 以下			6 (8)	5 (7)			5 (7)		5 (7)			6 (7)	5 (6)	4 (5)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で, 転石等により, やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

4) 電動式パイプロハンマとウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)

表 3.14 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	58	55	52	46	55	50	46	50	45	57	52	48	42	37
4 以下	33	31	27	23	30	26	23	26	22	33	28	25	20	17
6 以下	23	21	19	15	21	18	15	17	15	23	19	17	13	11
9 以下	17	15	13	11	15	13	11	12	10	17	14	12	9	8
12 以下	13	11	10	8	11	10	8	9	8	12	10	9	7	6
15 以下	10	9	8	6	9	8	6	7	6	10	8	7	5	4
19 以下		7	6	5		6	5	6	5		7	6	4	4
23 以下			5	4			4		4			5	4	3
25 以下			5	4			4		4			4	3	3

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.15 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型			VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H200	H250	H300	H350	H400
	型	型	型											
2 以下	29	28	27	26	28	27	26	27	25	29	27	26	24	23
4 以下	21	20	19	16	20	18	16	18	16	21	19	17	15	13
6 以下	17	15	14	12	15	14	12	13	12	16	14	13	11	9
9 以下	13	12	11	9	12	10	9	10	9	13	11	10	8	7
12 以下	10	10	8	7	9	8	7	8	7	10	9	8	6	5
15 以下	9	8	7	6	8	7	6	6	5	9	7	6	5	4
19 以下		7	6	5		6	5	5	5		6	5	4	3
23 以下			5	4			4		4			4	3	3
25 以下			4	3			3		3			4	3	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。



5) 油圧式パイロハンマとウォータージェット併用施工

表 3.16 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	61 (66)	58 (64)	55 (62)	51 (58)	58 (64)	54 (61)	50 (58)	53 (60)	49 (57)	56 (62)	52 (60)	46 (55)	42 (51)
4 以下	36 (42)	34 (40)	31 (37)	27 (34)	33 (39)	30 (36)	26 (33)	29 (36)	26 (33)	31 (38)	28 (35)	23 (30)	20 (27)
6 以下	26 (30)	24 (29)	21 (27)	18 (24)	23 (28)	21 (26)	18 (23)	20 (25)	17 (23)	22 (27)	19 (25)	16 (21)	13 (19)
9 以下	19 (23)	17 (21)	15 (20)	13 (17)	17 (21)	15 (19)	13 (17)	14 (19)	12 (17)	16 (20)	14 (18)	11 (15)	9 (13)
12 以下	14 (17)	13 (16)	11 (15)	10 (13)	13 (16)	11 (14)	9 (13)	11 (14)	9 (12)	12 (15)	10 (14)	8 (11)	7 (10)
15 以下	12 (14)	10 (13)	9 (12)	8 (10)	10 (13)	9 (12)	8 (10)	9 (11)	7 (10)	9 (12)	8 (11)	6 (9)	5 (8)
19 以下		8 (11)	7 (10)	6 (8)		7 (10)	6 (8)	7 (9)	6 (8)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)
23 以下			6 (8)	5 (7)			5 (7)		5 (7)		5 (7)	4 (6)	4 (5)
25 以下			5 (7)	4 (6)			4 (6)		4 (6)		5 (7)	4 (5)	3 (5)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.17 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	30 (31)	29 (30)	28 (30)	27 (29)	29 (30)	28 (30)	27 (29)	28 (29)	27 (29)	28 (30)	27 (29)	26 (28)	24 (27)
4 以下	22 (24)	21 (23)	20 (23)	18 (21)	21 (23)	20 (22)	18 (21)	19 (22)	18 (21)	20 (23)	19 (22)	17 (20)	15 (18)
6 以下	18 (20)	17 (19)	15 (18)	14 (17)	17 (19)	15 (18)	14 (17)	15 (18)	13 (16)	16 (18)	14 (17)	12 (15)	11 (14)
9 以下	14 (16)	13 (16)	12 (15)	10 (13)	13 (15)	12 (14)	10 (13)	11 (14)	10 (13)	12 (15)	11 (14)	9 (12)	8 (11)
12 以下	11 (13)	11 (13)	10 (12)	8 (11)	10 (13)	9 (12)	8 (11)	9 (11)	8 (10)	10 (12)	9 (11)	7 (9)	6 (8)
15 以下	10 (11)	9 (11)	8 (10)	7 (9)	9 (11)	8 (10)	7 (9)	7 (9)	6 (9)	8 (10)	7 (9)	6 (8)	5 (7)
19 以下		7 (9)	7 (8)	6 (7)		6 (8)	6 (7)	6 (8)	5 (7)	7 (9)	6 (8)	5 (7)	4 (6)
23 以下			6 (7)	5 (6)			5 (6)		4 (6)		5 (7)	4 (5)	3 (5)
25 以下			5 (6)	4 (6)			4 (6)		4 (5)		4 (6)	3 (5)	3 (4)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

6) 油圧式パイプロハンマとウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)

表 3.18 日当り施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	51	48	44	38	47	42	38	41	36	45	40	33	29
4 以下	27	24	21	17	24	20	17	20	16	22	19	15	12
6 以下	18	16	14	11	16	13	11	13	11	15	12	9	8
9 以下	13	12	10	8	11	9	8	9	7	10	9	6	5
12 以下	10	9	7	6	8	7	6	7	5	8	6	5	4
15 以下	8	7	6	4	7	5	4	5	4	6	5	4	3
19 以下		5	5	4		4	4	4	3	5	4	3	2
23 以下			4	3			3		3		3	2	2
25 以下			3	3			3		2		3	2	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.19 日当り施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[枚 (本) / 日]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	27	26	25	23	26	24	23	24	22	25	24	21	19
4 以下	18	17	15	13	17	15	13	15	13	16	14	12	10
6 以下	14	13	11	9	12	11	9	10	9	12	10	8	7
9 以下	11	10	8	7	9	8	7	8	7	9	7	6	5
12 以下	8	7	6	5	7	6	5	6	5	7	6	4	4
15 以下	7	6	5	4	6	5	4	5	4	5	5	3	3
19 以下		5	4	3		4	3	4	3	4	4	3	2
23 以下			4	3			3		3		3	2	2
25 以下			3	2			2		2		3	2	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

(2) 打込み (継施工あり)

鋼矢板, H 形鋼 1 枚 (本) につき 1 箇所継施工 (打込み) する場合の 1 日当り打込枚数及び本数 (N) は, 表 3.20~3.31 による。

また, 鋼矢板, H 形鋼 1 枚 (本) につき 2 箇所以上継施工を行う場合は, 表 3.32 の補正係数 (F) を, 表 3.20~3.31 の枚数及び本数に乗じて, 1 日当り継施工枚数及び本数を求める。

(注) 鋼矢板, H 形鋼 1 枚 (本) 当り X 箇所継ぐ場合の日当り継施工枚数及び本数 = N × F

なお, 日当り継施工枚数及び本数については, 整数止め (小数点以下四捨五入) とする。

1) 電動式パイプロハンマによる施工 (Nmax < 50)

表 3.20 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10
4 以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7	17	13	12	9
6 以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7	16	12	11	9
9 以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7	15	11	10	8
12 以下	17	13	11	7	15	11	8	8	6	14	10	9	7
15 以下	16	12	10	6	14	11	8	8	6	12	10	8	6
19 以下		12	10	6		10	7		6		9	8	6
23 以下			9	6			7				8	7	5
25 以下			9	6			7				8	6	5

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.21 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9
4 以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10	8
6 以下	14	12	10	7	13	11	8	8	6	12	10	9	7
9 以下	14	11	10	6	12	10	8	7	6	11	10	8	7
12 以下	13	11	9	6	12	9	7	7	6	11	9	8	6
15 以下	12	10	9	6	11	9	7	7	5	10	8	7	6
19 以下		10	9	6		9	7		5		8	7	5
23 以下			8	5			6				7	6	5
25 以下			8	5			6				7	6	5

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

2) 油圧式バイプロハンマによる施工 (Nmax < 50)

表 3.22 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10
4 以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7	17	13	11	9
6 以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7	16	12	10	8
9 以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7	14	11	9	8
12 以下	16	13	11	7	14	11	8	8	6	13	10	9	7
15 以下	15	12	10	6	13	10	7	7	6	12	9	8	6
19 以下		11	9	6		9	7		5		9	7	6
23 以下			9	5			6				8	6	5
25 以下			8	5			6				7	6	5

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.23 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9
4 以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10	8
6 以下	14	12	10	7	13	11	8	8	6	12	10	9	7
9 以下	13	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	8	7
12 以下	13	11	9	6	12	9	7	7	5	11	9	7	6
15 以下	12	10	9	6	11	9	7	6	5	10	8	7	6
19 以下		10	8	5		8	6		5		7	6	5
23 以下			8	5			6				7	5	5
25 以下			7	5			5				7	5	4

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

3) 電動式パイロハンマとウォータージェット併用施工

表 3.24 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	22 (23)	17 (18)	15 (15)	8 (9)	20 (21)	15 (16)	11 (11)	10 (10)	8 (8)	19 (19)	14 (15)	13 (13)	10 (11)
4 以下	18 (19)	15 (15)	13 (13)	8 (8)	17 (18)	13 (14)	9 (10)	9 (9)	7 (7)	15 (16)	12 (13)	11 (11)	9 (9)
6 以下	16 (17)	13 (14)	11 (12)	7 (7)	14 (15)	11 (12)	8 (9)	8 (8)	6 (7)	13 (14)	10 (11)	9 (10)	7 (8)
9 以下	13 (14)	11 (12)	9 (10)	6 (7)	12 (13)	10 (11)	7 (8)	7 (8)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	8 (9)	6 (7)
12 以下	11 (12)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)	9 (10)	8 (9)	6 (8)	5 (6)
15 以下	9 (11)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	5 (6)	5 (6)	5 (5)	8 (9)	7 (8)	5 (7)	5 (6)
19 以下		8 (8)	7 (8)	4 (5)		6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)
23 以下			6 (7)	4 (5)			5 (5)		4 (4)		5 (6)	4 (5)	4 (5)
25 以下			5 (6)	4 (4)			4 (5)		4 (4)		5 (6)	4 (5)	3 (4)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.25 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	16 (16)	13 (14)	12 (12)	7 (8)	15 (15)	12 (12)	9 (9)	8 (9)	7 (7)	14 (14)	11 (12)	10 (11)	9 (9)
4 以下	14 (14)	12 (12)	10 (11)	7 (7)	13 (13)	11 (11)	8 (8)	8 (8)	6 (6)	12 (13)	10 (10)	9 (10)	7 (8)
6 以下	12 (13)	10 (11)	9 (10)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (8)	7 (7)	6 (6)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (7)
9 以下	11 (11)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)	9 (10)	8 (8)	7 (8)	6 (7)
12 以下	9 (10)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	6 (6)	6 (6)	5 (5)	8 (9)	7 (7)	6 (7)	5 (6)
15 以下	8 (9)	7 (8)	6 (7)	4 (5)	8 (9)	6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)
19 以下		7 (7)	6 (7)	4 (5)		6 (5)	5 (5)	5 (5)	4 (5)	6 (7)	6 (6)	4 (5)	4 (5)
23 以下			5 (6)	4 (4)			4 (5)		4 (4)		5 (6)	4 (5)	4 (4)
25 以下			5 (6)	3 (4)			4 (5)		3 (4)		5 (5)	4 (4)	3 (4)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

4) 電動式パイプロハンマとウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)

表 3.26 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	21	17	14	8	19	15	10	10	8	18	14	12	10
4 以下	17	14	11	7	15	12	8	8	6	14	11	9	7
6 以下	14	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	7	6
9 以下	11	9	8	5	10	8	6	6	5	9	7	6	5
12 以下	9	8	7	4	8	7	5	5	4	7	6	5	4
15 以下	8	7	6	4	7	6	4	4	4	6	5	4	3
19 以下		5	5	3		5	4	4	3	6	5	3	3
23 以下			4	3			3		3		4	3	2
25 以下			4	3			3		3		3	3	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.27 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	16	13	11	7	14	12	9	8	7	14	11	10	8
4 以下	13	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	8	7
6 以下	11	9	8	5	10	8	6	6	5	9	8	7	5
9 以下	9	8	7	5	9	7	5	5	5	8	7	5	5
12 以下	8	7	6	4	7	6	5	5	4	7	6	4	4
15 以下	7	6	5	4	6	5	4	4	3	6	5	4	3
19 以下		5	5	3		5	4	4	3	5	4	3	2
23 以下			4	3			3		3		3	3	2
25 以下			3	2			2		2		3	3	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

5) 油圧式パイロハンマとウォータージェット併用施工

表 3.28 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	22 (22)	17 (17)	15 (15)	8 (9)	20 (20)	15 (16)	10 (11)	10 (10)	8 (8)	18 (19)	14 (14)	12 (13)	10 (10)
4 以下	17 (19)	14 (15)	12 (13)	7 (8)	16 (17)	12 (13)	9 (9)	8 (9)	7 (7)	14 (16)	11 (12)	10 (11)	8 (9)
6 以下	15 (16)	12 (13)	10 (11)	6 (7)	13 (14)	11 (12)	8 (8)	8 (8)	6 (6)	12 (14)	10 (11)	8 (9)	7 (8)
9 以下	12 (14)	10 (11)	9 (10)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (7)	6 (7)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	7 (8)	5 (7)
12 以下	10 (11)	8 (10)	7 (9)	5 (6)	9 (10)	7 (8)	5 (7)	6 (6)	5 (5)	8 (10)	7 (8)	5 (7)	5 (6)
15 以下	9 (10)	7 (8)	6 (8)	4 (5)	8 (9)	6 (8)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	4 (6)	4 (5)
19 以下		6 (8)	6 (7)	4 (4)		5 (7)	4 (5)	4 (5)	4 (4)	6 (7)	5 (6)	4 (5)	3 (4)
23 以下			5 (6)	3 (4)			4 (5)		3 (4)		4 (5)	3 (4)	3 (4)
25 以下			4 (5)	3 (4)			3 (4)		3 (4)		4 (5)	3 (4)	2 (4)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.29 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工) [1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	16 (16)	13 (13)	12 (12)	7 (7)	15 (15)	12 (12)	9 (9)	8 (8)	7 (7)	14 (14)	11 (11)	10 (11)	8 (9)
4 以下	13 (14)	11 (12)	10 (11)	6 (7)	12 (13)	10 (11)	8 (8)	7 (8)	6 (6)	11 (12)	10 (10)	9 (9)	7 (8)
6 以下	12 (13)	10 (11)	9 (9)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (7)	7 (7)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	7 (8)	6 (7)
9 以下	10 (11)	8 (10)	8 (9)	5 (6)	9 (10)	8 (8)	6 (7)	6 (6)	5 (5)	8 (10)	7 (8)	6 (7)	5 (6)
12 以下	8 (9)	8 (8)	7 (8)	4 (5)	8 (9)	6 (8)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)
15 以下	8 (8)	7 (8)	6 (7)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (5)	4 (5)	4 (5)	6 (7)	5 (6)	4 (5)	4 (5)
19 以下		5 (7)	5 (6)	4 (4)		5 (6)	4 (5)	4 (5)	3 (4)	6 (7)	5 (6)	4 (5)	3 (4)
23 以下			5 (5)	3 (4)			4 (4)		3 (4)		4 (5)	3 (4)	2 (4)
25 以下			4 (5)	3 (4)			3 (4)		3 (3)		3 (5)	3 (4)	2 (3)

(注) 1. 凡例

上段 : 50 Nmax < 100

下段 ( ) 書き : Nmax < 50 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。

6) 油圧式パイプロハンマとウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)

表 3.30 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (陸上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7	17	13	11	9
4 以下	15	12	10	6	13	10	7	8	6	12	10	8	6
6 以下	12	10	8	5	10	8	6	6	5	10	7	6	5
9 以下	9	8	7	4	8	6	5	5	4	7	6	4	4
12 以下	8	7	5	4	6	5	4	4	3	6	5	4	3
15 以下	6	5	5	3	6	4	3	4	3	5	4	3	2
19 以下		4	4	3		3	3	3	2	4	3	3	2
23 以下			3	2			2		2		3	2	2
25 以下			3	2			2		2		3	2	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

表 3.31 日当り継施工枚 (本) 数 (N) (水上施工)

[1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ]

型式 打込長(m)	型	型	型	VL 型	w 型	w 型	w 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400
2 以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	9	8
4 以下	12	10	9	6	11	9	7	7	5	10	8	7	6
6 以下	10	8	7	5	9	7	5	5	5	8	7	5	5
9 以下	8	7	6	4	7	6	5	5	4	7	5	4	4
12 以下	6	5	5	3	6	5	4	4	3	6	5	3	3
15 以下	6	5	4	3	5	4	3	4	3	4	4	3	2
19 以下		4	3	2		3	2	3	2	3	3	3	2
23 以下			3	2			2		2		3	2	2
25 以下			3	2			2		2		3	2	2

(注) 施工枚 (本) 数には, 導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。



7) 鋼矢板, H 形鋼 1 枚 (本) 当り箇所継施工箇所数による補正

表 3.32 補正係数 (F) {鋼矢板 (H 形鋼) 1 枚 (本) 当り 2 箇所以上継施工を行う場合}

適用		鋼矢板 , , , L , w , w , w , 10H , 25H											
最大 N 値		単独施工 (Nmax < 50)				ウォータージェット併用施工 (50 Nmax < 100)				ウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)			
継施工箇所数		2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 F	陸上施工	0.63	0.46	0.37	0.30	0.70 (0.67)	0.54 (0.51)	0.44 (0.42)	0.38 (0.35)	0.74	0.60	0.50	0.43
	水上施工	0.67	0.51	0.41	0.34	0.72 (0.70)	0.57 (0.55)	0.48 (0.45)	0.41 (0.38)	0.76	0.62	0.53	0.46

適用		H 形鋼 H250 , H300 , H350 , H400											
最大 N 値		単独施工 (Nmax < 50)				ウォータージェット併用施工 (50 Nmax < 100)				ウォータージェット併用施工 (100 Nmax 180)			
継施工箇所数		2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 F	陸上施工	0.66	0.49	0.39	0.30	0.72 (0.69)	0.57 (0.54)	0.48 (0.44)	0.41 (0.37)	0.77	0.63	0.54	0.48
	水上施工	0.69	0.53	0.43	0.36	0.75 (0.72)	0.60 (0.57)	0.51 (0.47)	0.44 (0.40)	0.79	0.66	0.57	0.50

(注) ウォータージェット併用施工における ( ) 書きは, Nmax < 50 の場合で, 転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

(3) 継施工費

表 3.33 継施工費

鋼矢板・H 形鋼型式		継施工費 (円/箇所)
鋼矢板	型	6,100
	型	6,410
	型	6,820
	L 型	7,960
	L 型	8,090
	w 型	7,470
	w 型	7,700
	w 型	8,230
	10H 型 (ハット)	11,800
	25H 型 (ハット)	12,600
H 形鋼	H250	15,600
	H300	20,800
	H350	25,600
	H400	37,100

(注) 継施工費に含まれる費用は, 次のとおりである。

鋼矢板継施工費: 溶接棒費用, 補強板材料費, 開先加工費

H 形鋼継施工費: 補強板材料, 接続用ボルト・ナット材料費, H 形鋼孔明け加工費

## (4) 引抜き

鋼矢板，H 形鋼の 1 日当り引抜き枚数及び本数 (N) は次表による。

表 3.34 日当り施工枚 (本) 数 (N) [枚 (本) / 日]

引抜き長(m) \ 施工場所	陸上施工	水上施工
2 以下	91	50
4 以下	78	46
6 以下	68	42
9 以下	58	38
12 以下	50	34
15 以下	43	31
19 以下	38	28
23 以下	33	25
25 以下	30	24

(注) 1. 上表は，広幅鋼矢板 ( W , W , W ) 及びハット形鋼矢板 ( 10H , 25H ) には適用しない。

2. 鋼矢板・H 形鋼を鉛直に吊上げた状態で，鋼矢板等を切断する場合には，別途計上する。

3-4 諸雑費

諸雑費は、溶接棒、導材（ガイド）賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、水中ポンプ損料、水槽及び配管損料）、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費（潜水士は除く）及び機械運転経費の合計に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.35 諸雑費率 (%)

施工区分	パイプロハンマ規格		諸雑費率				
			継施工なし		継施工あり		
			普通・広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形 鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼
パイプロハンマ 単独施工・打込み	電動式	60kW	22 15	18 13	21 15	18 13	20 15
		90kW	30 20	24 18	27 20	23 17	27 19
	油圧式	224kW (235kW) (注 2)	2 2	1 2	2 2	2 2	1 2
ウォータージェット 併用施工・打込み	電動式	60kW	22(26) 21(20) (注 3)	20(23) 19(18) (注 3)	21(25) 20(19) (注 3)	19(22) 18(18) (注 3)	21(25) 20(19) (注 3)
		90kW	27(32) 25(24) (注 3)	23(27) 22(21) (注 3)	25(30) 24(23) (注 3)	23(26) 21(21) (注 3)	25(30) 24(23) (注 3)
	油圧式	224kW (235kW) (注 2)	8(8) 8(7) (注 3)	7(8) 7(7) (注 3)	8(9) 8(8) (注 3)	8(8) 8(7) (注 3)	8(8) 8(7) (注 3)
引抜き	電動式	60kW	19 13 (注 4)	-	-	-	-
		油圧式	224kW	0.1 - (注 4)	-	-	-

(注) 1. 凡例

上段：陸上施工の場合

下段：水上施工の場合

2. パイプロハンマ規格における ( ) 書きは、ハット形鋼矢板の場合。

3. ウォータージェット併用施工・打込みにおける ( ) 書きは、Nmax < 50 の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

4. 引抜きの諸雑費率は、広幅鋼矢板には適用しない。

## 4. 単価表

## (1) パイプロハンマ施工による鋼矢板等の打込み又は引抜き 10 枚 (本) 当り単価表

(鋼矢板等打込み, 又は引抜き長 m)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.6 表 3.8 ~ 3.11, 3.20 ~ 3.23, 3.32, 3.34
とび工		"	$\frac{10}{N} \times \begin{matrix} 2 \\ (3) \end{matrix}$	" "
普通作業員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "
溶接工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" (必要に応じて計上) "
パイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3.1 ~ 3.4 "
引船運転	鋼製 200PS 型	"	$\frac{10}{N}$	表 3.5 (必要に応じて計上) "
クレーン付台船運転	台船 300t 積 クローラクレーン 45 ~ 50t 吊	"	$\frac{10}{N}$	" (必要に応じて計上) "
矢板積台船運転	200t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (必要に応じて計上) "
継施工費		箇所	10 × X	表 3.33 (必要に応じて計上)
諸雑費		式	1	表 3.35
計				

(注) N: 日当り施工枚 (本) 数 [枚 (本) / 日]

X: 1 本当り継施工箇所数 { 箇所 / 枚 (本) }

( ) 書き: H 形鋼 (継施工あり) の場合に適用する。

(2) バイプロハンマとウォータージェット併用施工による鋼矢板等の打込み 10 枚 (本) 当り単価表

(鋼矢板等打込長 m)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.6 表 3.12 ~ 3.19, 3.24 ~ 3.32, 3.34
とび工		"	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	"
普通作業員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	"
溶接工		"	$\frac{10}{N} \times 1$ [2]	"
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3.1 ~ 3.2, 3.4 "
杭打ち用ウォータージェット運転	14.7MPa 325L/min	日	$\frac{10}{N} \times$ 台数	表 3.1 ~ 3.2 "
引船運転	鋼製 200PS 型	"	$\frac{10}{N}$	表 3.5 (必要に応じて計上) "
クレーン付台船運転	台船 300t 積 クローラクレーン 45 ~ 50t 吊	"	$\frac{10}{N}$	" (必要に応じて計上) "
矢板積台船運転	200t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (必要に応じて計上) "
継施工費		箇所	10 × X	表 3.33 (必要に応じて計上)
諸雑費		式	1	表 3.35
計				

- (注) N : 日当り施工枚 (本) 数 [枚 (本) / 日]  
 X : 1 本当り継施工箇所数 { 箇所 / 枚 (本) }  
 ( ) 書き : H 形鋼 (継施工あり) の場合に適用する。  
 [ ] 書き : 鋼矢板 (継施工あり) の場合に適用する。

(3) 矢板積台船 (200t 積) 運転 1 日当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
台船損料	200t 積	供用日	1.3	
諸雑費		式	1	
計				

(4) 機械運転単価表 (陸上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項	適用
電動式バイプロハンマ杭打機	60kW 90kW	機 - 20	運転労務数量 1.00 燃料消費量 78 機械損料 1 バイプロハンマ (単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量 1.3 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 ~ 55t 吊) 機械損料数量 1.3	打込み 引抜き
電動式バイプロハンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	60kW 90kW	機 - 20	運転労務数量 1.00 燃料消費量 78 機械損料 1 バイプロハンマ (単体) 電動式・可変モーメント型 60kW, 90kW 機械損料数量 1.3 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50 ~ 55t 吊 機械損料数量 1.3	打込み
油圧式バイプロハンマ杭打機	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 224kW	機 - 20	運転労務数量 1.00 燃料消費量 478 機械損料 1 バイプロハンマ 油圧式・可変超高周波型 機械損料数量 1.3 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50 ~ 55t 吊 機械損料数量 1.3	打込み
			運転労務数量 1.00 燃料消費量 516 機械損料 1 バイプロハンマ 油圧式・可変超高周波型 機械損料数量 1.2 機械損料 2 ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t 吊 機械損料数量 1.2	引抜き
油圧式バイプロハンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 235kW	機 - 20	運転労務数量 1.00 燃料消費量 496 機械損料 1 バイプロハンマ 油圧式・可変超高周波型 機械損料数量 1.3 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50 ~ 55t 吊 機械損料数量 1.3	打込み
杭打ち用ウォーター ジェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325L/min	機 - 24	燃料消費量 110 機械損料数量 1.3	打込み

## (5) 機械運転単価表 (水上施工)

名称	規格	適用単価表	指定事項	
パイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60kW, 90kW	機 - 25	電源 機械損料数量	発動発電機機 1.3
パイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変モーメント型 60kW, 90kW	機 - 25	電源 機械損料数量	発動発電機機 1.3
パイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 224kW	機 - 24	燃料消費量 機械損料数量	400 1.3
パイプロハンマ (単体) (ハット形鋼矢板用)	油圧式・可変超高周波型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 235kW	機 - 24	燃料消費量 機械損料数量	418 1.3
杭打ち用ウォーター ジェット	ポンプ圧力 14.7Mpa 325L/min	機 - 24	燃料消費量 機械損料数量	110 1.3
クレーン付台船	クローラクレーン 45 ~ 50t 吊 台船 300t 積	機 - 11	船員名称 機械損料単位 運転労務数量 (クローラクレーン) 燃料消費量 機械損料数量 (台船) 機械損料数量	高級船員 供用日 1.00 59 1.3 1.3
引船	鋼製 200PS 型	機 - 11	船員名称 機械損料単位 運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	高級船員 供用日 1.00 111 (重油) 1.0

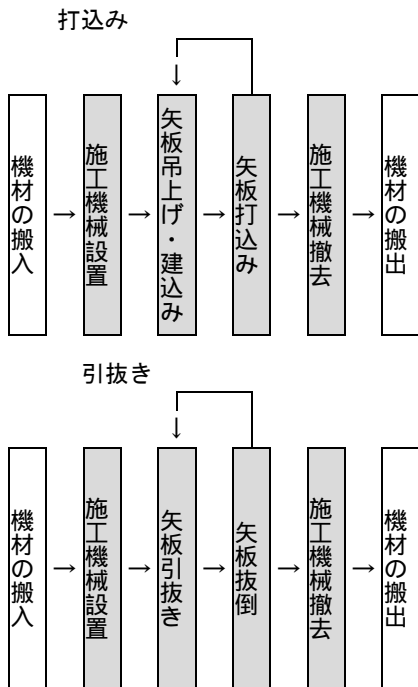
2)-2 バイプロハンマエ (軽量鋼矢板打込引抜工)

1. 適用範囲

電動式バイプロハンマによる軽量鋼矢板の打込み, 引抜きに適用する。

2. 施工概要

施工フローは, 下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは, 着色部分のみである。

3. 機種の選定

機械・規格は次表を標準とする。

表 3.1 機種の選定

機械名	規格	単位	数量	摘要
バイプロハンマ	15kW	台	1	
クローラクレーン (機械式)	16t 吊	"	1	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t 吊	"	1	必要時のみ計上
発動発電機	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 17/20kVA	"	1	"

(注) 1. トラッククレーンは, 小運搬用として次の場合のみ計上する。

施工場所から 30m 以内のところに矢板置場を設けることが出来ない場合

作業場所が狭小で民家その他施設, 構造物などを破損又は危険にさらす恐れのある場合

2. 発動発電機は, 商用電源がない場合に計上する。

4. 編成人員

軽量鋼矢板の打込み, 引抜き作業の編成人員は, 次表を標準とする。

表 4.1 打込み, 引抜き作業の編成人員 (人)

世話役	とび工	普通作業員
1	2	1



5. 施工歩掛

5-1 打込み及び引抜施工時間

矢板 1 枚当り打込み及び引抜施工時間は、次式による。

$$TC = \frac{Ts + Tb}{fc} \dots\dots\dots (分/枚)$$

- TC : 矢板 1 枚当り施工時間 (分/枚)
- Ts : " 準備時間 (分/枚)
- Tb : " 打込み又は引抜時間 (分/枚)
- fc : 現場の条件による作業係数

(1) 軽量鋼矢板 1 枚当り準備時間 (Ts)

軽量鋼矢板 1 枚当り準備時間は、次表を標準とする。

表 5.1 軽量鋼矢板 1 枚当り準備時間 (Ts) (分/枚)

打込み	引抜き
$Ts = 0.3 \cdot L + 2$	$Ts = 0.15 \cdot L + 1.5$

(注) L : 矢板長さ (m)

(2) 軽量鋼矢板 1 枚当り打込み又は引抜時間 (Tb)

- $Tb = \dots \cdot t \cdot K \dots\dots\dots (分/枚)$
- : 土質による打込み又は引抜時間 (分/m)
- t : 矢板根入長 (m)
- K : 軽量鋼矢板の種類による係数

1) 土質による打込み又は引抜時間 ( )

土質による打込み又は引抜時間は、次表を標準とする。

表 5.2 打込み又は引抜時間 (分/m)

工種		( 1 ) レキ質土・砂・砂質土	( 2 ) 粘性土
打込	バイプロハンマ	$0.02 \cdot N1 + 0.7$	$0.03 \cdot N2 + 0.7$
引抜	バイプロハンマ	0.4	0.7

- (注) 1. N1, N2 : 各地質ごとの根入長に対する加重平均 N 値
- 2. の算出については 1・ 2 を各々算出し、下式により加重平均する。

$$= \frac{1 \times L1 + 2 \times L2}{L1 + L2}$$

- : 土質による打込み又は引抜時間 (分/m)
- 1 : レキ質土, 砂, 砂質土の打込み又は引抜時間 (分)
- L1 : 1 に対する根入長 (m)
- 2 : 粘性土の打込み又は引抜時間 (分)
- L2 : 2 に対する根入長 (m)

2) 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

表 5.3 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

矢板種類	打込み	引抜き
軽量矢板 250mm	0.5	0.6
" 300mm	0.8	0.95

## 3) 現場の条件による作業係数 (fc)

作業係数は、次式による。

$$f_c = f_0 + f_1 + f_2 + f_3 + f_4$$

f<sub>0</sub> : 基準作業係数

f<sub>1</sub> ~ f<sub>4</sub> : 作業条件による補正係数

表 5.4 基準作業係数 (f<sub>0</sub>)

打込み	引抜き
0.8	0.7

表 5.5 作業条件による補正係数

条件		係数			摘要
		-0.05	0	+0.05	
f <sub>1</sub>	家屋, 鉄道, 橋梁, 道路施設, 構造物などによる障害の程度	かなりある	なし	-	作業中断の有無, 並びに機械の行動に制約される。
f <sub>2</sub>	現場の広さによる作業難易の程度	不良	普通	-	機械の移動, 矢板の仮置場所, 矢板の吊込などに十分な広さがあるか。
f <sub>3</sub>	足場の状況により作業に及ぼす程度	不良	普通	良	不陸, 軟弱等による足場の良否
f <sub>4</sub>	施工規模 (1 工事当り)	100 枚未満	100 枚以上 300 枚未満	300 枚以上	

## 5-2 運転時間

## (1) バイプロハンマ, クローラクレーン, 発動発電機

- ・ 矢板 1 枚当り運転時間 = TC
- ・ 運転日当り運転時間 (T) = 「建設機械等損料表」のバイプロハンマの標準時間
- ・ バイプロハンマの電源に商用電源を用いた場合の電力料の算出は, 1 枚当り施工時間 (TC) に, 0.7 を乗じたものとする。

## (2) トラッククレーン

- ・ 矢板 1 枚当り運転時間 = TC × 0.6

## 6. 単価表

## (1) バイプロハンマによる軽量鋼矢板打込み又は引抜き 10 枚当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	$\frac{10 \cdot TC}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	表 4.1
とび工		"	$\frac{10 \cdot TC}{60} \times \frac{1}{T} \times 2$	"
普通作業員		"	$\frac{10 \cdot TC}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	"
バイプロハンマ杭打機運転		h	$\frac{10 \cdot TC}{60}$	ベースマシン + バイプロハンマ
発動発電機運転		日	$\frac{10 \cdot TC}{60} \times \frac{1}{T}$	必要に応じて計上
トラッククレーン運転		h	$\frac{10 \cdot TC}{60} \times 0.6$	"
諸雑費		式	1	
計				

(注) T = バイプロハンマ運転日当り運転時間 (h)

TC = 軽量鋼矢板 1 枚当り施工時間 (分)

## (2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
電動式バイプロハンマ 杭打機	15kW	機 - 5	機械損料 1 バイプロハンマ 15kW (商用電力を使用した場合は下記による) 電力量 $E \times 0.7$ E バイプロハンマの時間当り電力消費量 (kWh) TC 矢板 1 枚当り施工時間 (分)
発動発電機	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 17/20kVA	機 - 12	運転時間 バイプロハンマの運転日当り運転時間 (h)
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16t 型	機 - 1	

(注) 杭打機の供用日当り運転時間 (t) は、バイプロハンマの t とする。